

業界動向

DS Management & Agencyらが、 不動産投資教育LLPを発足 個人投資家のリテラシー向上を目指す

個人投資家向けの不動産投資リテラシー向上を目的とする、「不動産投資教育有限責任事業組合(LLP)」が発足した。個人投資家向け不動産投資コンサルティングを行うDS Management & Agency代表取締役の須長大城氏と不動産事業者向け法務コンサルティングを行う不動産法務サポートオフィス代表の中沢誠氏が中心となって設立。研修やセミナーの企画・運営が主な活動内容となる。

昨今、分譲マンションの1室からビル1棟あるいは複数棟の所有まで、個人投資家による不動産投資が増える一方、リスクや投資家責任に対する意識・認識が甘い投資家も多い。投資用不動産の販売側には、悪質な勧誘行為や不十分な調査・不適切な説明を行っている事業者も存在するため、各地でトラブルになるケースも見受けられるという。こうした背景を受けて、須長氏は、「当LLPがセミナーや研修を通して伝えていきたいことは、最終的に投資は自己責任だということ。成功者の体験を真似するのではなく、自身の財務能力や投資目的からどんなタイプ・規模・立地の不動産が投資対象として相応しいのかを判断できるようになってもらいたい」と語る。

セミナーについては、本年中に9講座の開催を予定しており、来年からは週1回の頻度で開催していくという。参加費は1万円（1講座2～3時間）

で、講師は須長氏や中沢氏のほか税理士、不動産鑑定士等の各有識者を予定。仲介業者による物件の紹介は行わない。

9月10日に行われた第1回目となるセミナーでは、『不動産投資の基礎から学ぶ、投資スタンスと物件タイプ』をテーマに須長氏が講演。10名ほどの個人投資家が参加し、不動産投資の目的から投資スタンスを決める際に押さえておくべきポイント、不動産を取巻く環境の捉え方などを学んだ。